



2025～26 年度国際ロータリー・テーマ
RI 会長：フランチェスコ・アレツォ

鹿屋西ロータリークラブ週報
WEEKLY REPORT
NEWS
[https://kanoya24-](https://kanoya24-rotary.com)
ROTARY 第 2163 回



2026 年 5 月 17 日 (日) 地区研修・協議会 (地区ラーニングアセンブリー) 於：鹿児島サンロイヤルホテル

2026 年 3 月 28 日 [3RC (鹿屋・鹿屋西・かのや東) 合同例会・観桜会]

◆ゲスト紹介

鹿屋市長	郷原 拓男 様
第一航空群司令	赤岩 英明 様
第一航空群司令部 副官	佐藤 大志郎 様
鹿屋高等学校 校長	松崎 浩隆 様
かのや東プロバスクラブ 幹事	下平瀬 哲郎 様

◆ビジター紹介

米山奨学生 馬 駿軒 (マ チェンケン) 様
米山奨学生カウンセラー 上村 雅彦さん

◆ビジター紹介 (3/23)

[鹿屋 RC] 延時幸子さん、持田秀行さん
松下和夫さん
[かのや東 RC] 日高裕二さん、駆川 恒さん
井高知篤さん



会長挨拶

会長 久木田 弘さん


皆さま、こんばんは。
今日は、鹿屋ロータリークラブ、かのや東ロータリークラブ、そして私ども鹿屋西ロータリークラブの三クラブ合同例会並びに合同観桜会に年度末の大変お忙しい中、ご参加いただき誠にありがとうございます。また、本日はご多忙の中、ご臨席賜りましたゲスト・ビジターの皆さまに、心より厚く御礼申し上げます。
本日の合同例会は、輪番制の為、僭越ではございますが、私ども鹿屋西ロータリークラブが主管を務めさせていただいております。

改めまして、私は 2025-2026 年度、鹿屋西ロータリークラブ第 49 代会長を務めております久木田弘と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。ロータリークラブの例会では毎回最初に会長の時間という約 10 分以内で会長が話をするように決められています。本日の「会長の時間」は、短く 5 分ほどと伺っております。

例会終了後、観桜会でございますので、「桜」について少しお話をさせていただきます。

日本人にとって桜は、単なる花ではなく、心の風景そのものではないでしょうか。入学式、卒業式、新たな門出、人生の節目には、いつも桜が寄り添ってきました。その中でも、日本で最も多く見られる桜が、皆さまもよくご存じのソメイヨシノです。ソメイヨシノは、江戸時代末期から明治初期に染井村 (現在の東京都豊島区駒込・巣鴨付近) に集落を作っていた造園師や植木職人達によって育成され、江戸の染井村で植木職人らによって売り出され、全国に広がりました。

ソメイヨシノの和名は奈良県山岳部の吉野山の「吉野桜」の山桜と区別するため染井村と吉野桜の名を取り「染井吉野」と命名したようです。このソメイヨシノ、実はすべて同じ遺伝子を持つクローンの木であるそうです。江戸時代の末期、エドヒガンとオオシマザクラの雑種が交雑してできた桜で、昭和の高度経済成長期にかけて日本全国で圧倒的に多く植えられました。

次回プログラム		メイクアップ情報		鹿屋西ロータリークラブ	
3 月 30 日 (月)		鹿屋	04月01日 (水) ホテルこぼやし		 会長：久木田 弘 副会長：山崎 隆夫 幹事：西ノ原庄一
卓話者：ゲスト 平和の大使		かのや東	04月02日 (木) かのやランドホテル		
担当委員会：国際奉仕		串良	03月30日 ⇒4/6(月)18:30~おれのゴッ(観桜会)	例会日 月曜日 12:30~13:30 例会場 ホテルさつき苑 TEL:40-1212 事務局 〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10 ホテルさつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959 E-mail kanoya24@po5.synapse.ne.jp	
3分間スピーチ：—		志布志	03月31日 (火) 天黒リゾートホテル 第5週:例会無し		
出席報告	会員数	(34) 39 名	きもつき		04月01日 (水) 高山温泉ドーム
	出席数	27 名	南九州大崎		04月02日 (木) セントラル道の駅 第1週:例会無し
	出席率	79.41 %	志布志みなど		04月01日 (水) 大浜緑地公園 19:00~観桜会

このため今日では、気象庁が鹿児島県種子島から北海道札幌までの各地のサクラの開花・満開を判断する「標本木」としています。

つまり、日本中のソメイヨシノは、いわば「同じ一本の木の兄弟」とも言える存在なのです。だからこそ、桜前線という言葉があるように、南から北へと、まるでリレーのように花を咲かせ、日本列島に春の訪れを知らせてくれます。そしてもう一つ、桜の大きな特徴は一斉に咲き、そして深く散るというその姿です。満開の美しさもさることながら、散り際の美しさに、日本人は特別な感情を抱いてきました。それは、「限りある命の中で、精一杯咲く」という生き方にも重なるのではないのでしょうか。

この桜の姿は、私たちロータリアンの在り方にも通じるものがあると感じております。それぞれが違う職業、違う立場でありながらも、「よいことのために行動する」という共通の志のもと、地域に根ざ

し、社会に貢献していく。そして時には、目立たずとも、誰かのために尽くし、静かに役割を果たしていく。その姿はまさに、咲いて人を楽しませ、散ってなお人の心に残る桜のようではないでしょうか。本日のこの合同例会、そして観桜会もまた、三クラブの親睦を深めるとともに、新たな友情を育む大変貴重な機会でございます。どうぞこのひとときを通じて、クラブの垣根を越えた交流を深めていただき、笑顔あふれる有意義な時間となりますことを心より願っております。

また本日これから開催の観桜会の企画準備をして頂きました假屋親睦委員長をはじめ委員会の皆様には御礼申し上げます。結びに、本日ご参加いただきました皆さまのご健勝とご活躍、そして三クラブのさらなる発展を祈念申し上げ、ご挨拶並びに会長の時間とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



久木田会長 宮田(かのや東)会長 右田(鹿屋)会長 郷原市長 赤岩群司令



上村米山カウンセラー&米山奨学生(マチェン)さん



鹿屋高校長、米山奨学生・カウンセラー・会長以外の皆様

